

山中だより

山中 してもらおう
キャッチ させられる人から
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第8号

発行 令和元年7月19日 校長 交久瀬 善浩

◆◆1学期を終えて◆◆

1学期が終わりました。4月からの約4ヶ月、自分が納得できる学校生活を送ることが出来ましたか。

3年生のみなさん、最高学年として過ごしてどうだったでしょうか。最高学年としての自覚はしっかり持てたでしょうか。その責任は果たせているでしょうか。また受験を控えて、自分の将来を展望し、人生において何を成していくのかを考え、その上で自分の進路を決める下準備は整ったでしょうか。この夏休みは、中学校生活最後の夏休みです。時間には十分余裕があるはずです。しっかりと自分の将来を考え、高校の体験入学や見学会に参加し、進路決定に向けて自分が生きる基礎を築いていってください。

2年生のみなさん、中堅学年としてどのように学校や学年そして学級に貢献できましたか。2学期には生徒会役員選挙があり、名実ともに2年生が生徒会を動かしていくことになります。夏休み中に、どのように学校を創っていくのか、その中で自分はどのような働きをしていくのかを考え、準備をしておいてください。また、2年生の学習内容は大変重要です。何故自分は学習をするのかをしっかりと考え、これまでの復習をしておきましょう。

1年生のみなさん、1学期間を過ごしてみて感想はどうでしょう。中学校生活にはもう慣れましたか。学校生活を楽しくめていますか。何事でもそうですが、自分が主体的にやっているか、それとも受身的にやれられているかによって感じ方が違ってきます。楽しくない・興味がわからないというのは、自分が主体的に関わっていないからです。クラブも勉強も生徒会行事もクラス行事もすべて同じです。自分のこととして主体的に関わるとすべてが興味深く面白く変化していきます。夏休みは何か自分が主体的に関わることを見つけ、自らの意思で自らの力で事を成すことの楽しさや成しえたときの充実感を味わい、主体的であることの重要性を自らの力で感じ取ってください。



最後に、全学年のみなさん、スマホの使用時間は、1日1時間を越えると相当な勉強等の努力が無駄になることが証明（一緒に発行した「山中だより」のNo.9の「考えてみよう!!」を参照）されています。スマホを4時間以上使用すると学習などの努力がすべて無駄となります。

夏休みは、自由になる時間が普段よりはたくさんあります。その時間を、スマホを一日に何時間も使うことで過ごして、夏休み中に努力した学習時間まで無駄なものとしてしまうのか、それともスマホの使用を一日1時間以下に我慢して、自分の将来のための何かをするか、決めるのはあなた自身です。

その結果は、すぐにあなたに返ってきます。そのことを肝に銘じて、スマホの使用時間を考えてください。



◆◆陸上部 尾崎真衣さん、女子 800mで全国大会出場決定！！◆◆

7月6日の全国大会出場を決定する陸上の大会で、規定のタイム以上の結果を出し、尾崎真衣さんが女子 800m で全国大会出場を決定しました！おめでとうございます！！

800m という競技は、過酷で難しい競技と言われていますが、その競技で全国大会出場、快挙です！！すごいことだと思います！！

尾崎さんは、全国大会以外でも、このあと夏休み中に、近畿大会出場をかけて府大会にも臨みます。自身の納得できる試合運びが出来るよう、一日一日を大切に、練習に精一杯頑張ってください！！

他のクラブも夏休みに入るといろんな試合が続くと思います。結果は関係ありません。どのクラブも、みんなが自分の精一杯でやり切れたと胸を張れる頑張りができるよう、この後の練習に精を出してください。そして、自身が納得できる結果を出してきてほしいと思います。



◆◆夏休み中に地域行事に参加し、地域の方のお手伝いをしよう！！◆◆

今年の山田中学校のキャッチフレーズは「してもらい させられる人から する人へ」です。日頃、授業のあるときはなかなか地域行事や自治会の祭りなどに参加したり手伝ったりすることはできないと思いますが、休み中はクラブの時間との調整だけで地域行事に参加することが可能となります。

私は、みなさんが「地域で活躍できる山中生」になってほしいと願っています。

「地域で活躍できる」ということは、あなた方が大人への階段を上る一段目の階段であり、社会へ踏み出す最初の一步となります。その一步を大人の年齢になってから踏み出すのか、中学生の今踏み出すのか、この差は大変大きいものとなって、あなたの人生に影響してくると思います。



「なんで中学生が地域のことせんとあかんの」「そんなん大人になってから、それも歳取ってからやったらええねんやん」とか思った人、本当にそれでいいのか、20年ほど先の未来を予測して、考えてみてください。果たして、今のような社会の状況が続いているのでしょうか？



これは私の予想ですが、おそらく地域社会は地域の人によってのみしか支えることが出来なくなるでしょう。そこに住む人みんなで力を寄せ合って地域社会を保たなければならなくなると思います。

中学生としてあなた自身が大人になったときにどう生きたいのか、どう生きることができるのか、答えはあなた自身の心の中にあります。そして、保護者の方は、あなたのお子さんが未来でどう生きていくのか、自分の力でどれだけ生きることができるのか、しっかりとお子さんを見つめ考えてください。人は一人では生きられません。親は一生子どもの面倒を見ることはできません。お子さんが将来、地域社会においてどう人と関わって生きていくのか、あるいは人との関わりを失って孤立の中でしか生きられないのか…。お子さんは、どうすれば自分の力で幸せに生きることができるのか…。

地域社会へ踏み出す一步を、中学生の今踏み出すのか、大人になってから踏み出すのか、その一步の差は、途方もなく大きいのです。必ずと言って良いほど生き方や人生に大きく影響します。山中生のみなさんは、この夏休み中に、地域社会へのその一步を踏み出してください。特に「前向きに生きたい」「自主性をもちたい」「ポジティブに生きたい」と思っている人は、是非この夏にその一步を踏み出しましょう！！学年は関係ありません。早ければ早いほどいいと思います。

地域行事で地域の人に混じって、祭りなどの準備や後片付け、販売の手伝い、或いは自治会の清掃活動、なんでも良いですから、地域の行事で地域に役立つなにかを一つで良いですから、この夏休み中にやってみましょう！！期待しています！！